

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのできることを自分でしようとする。</li> <li>好きな遊びを楽しみながら、友だちとの関わりを深める。</li> <li>夏の自然に触れ、興味・関心を持つ。</li> <li>季節の行事に喜んで参加し、由来などに関心を持つ。</li> </ul>	先月の子どもの姿	園生活にも慣れ、自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。水遊びやプールも喜んで入る姿が見られる。自己主張するなかで物の取り合いや言い合いなども多く見られた。保育士が間に入り言葉での伝え方を知らせた。水遊びの準備など、少し変化があり戸惑ったり、準備が進まない時もあったが、保育者が声を掛けたり、その後の活動に意欲を持つと進んで準備をしようとする姿が見られていた。	行事	七夕集会 避難訓練 身体測定
内 容		環 境 構 成		保育者の援助及び配慮	
養護 ○生命・情緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や保護者に見守られながら、朝や帰りの支度を自分でしようとする。</li> <li>活動間などでこまめに水分補給をする。</li> <li>体調や気温に合わせて衣服の調整を行っていく。</li> <li>困っていることや手伝ってほしいことを自分の言葉で保育者に伝えようとする。</li> <li>自分の気持ちを十分に表現できる環境の中で友だちや、保育者との信頼関係を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣類かごや、汚れ物入れなどの場所を固定し、準備がしやすいような環境を整える。</li> <li>コップ、お茶ポットを活動する場所に持って置いておく。</li> <li>衣服が自分で出しやすいように室内の環境を整える。</li> <li>自分で伝えられるような簡単な言葉を伝える。</li> <li>子どもの気持ちや行動に合わせて保育者が寄り添う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人でやる姿を見守りながら、できたことを十分に認め自信に繋げていく。</li> <li>全員が水分補給をできるようこまめに声掛けをしていく。</li> <li>身支度や着替えを行うのに不安がある子どもにはそばに寄り添ったり必要に応じて援助を行う。</li> <li>伝えようとする仕草や表情を見逃さないようにしつつ、伝えられた時には十分にその姿を認めていく。</li> <li>遊びが見つからなかったり、思いが表現できず困っている時には、保育者が気持ちを受けとめていく。</li> </ul>		
教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻水が出たら自分で気付き、拭こうとする。</li> <li>排便したら保育者に伝え、一緒に拭いてみようとする。</li> <li>上履きの左右や衣服の前後・裏表に気付いたり保育者の声かけて直そうとする。</li> <li>保育者や友だちの話を聞こうとする。</li> <li>室内や戸外で仲の良い友だちと遊びを広げ、楽しむ。</li> <li>おにごっこ等簡単なルールのある遊びを知り、楽しむ。</li> <li>水の感触や心地よさを感じ、水遊びやプール遊びをたのしむ。</li> <li>夏の植物（ひまわりや、夏野菜）や虫（セミなど）を見つけたら、触れて喜ぶ。</li> <li>出来ないことや手伝ってほしいことを言葉で伝えようとする。</li> <li>友だちや保育者と思いが伝わり合う喜びを知る。</li> <li>水、砂、泥などの感触を楽しみ遊ぶ。</li> <li>七夕の由来を知り意欲的に制作をする。</li> <li>好きな歌や踊りを、身体を動かして楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ティッシュは、子どもが自分で取れる所にいつも置いておく。</li> <li>すぐにトイレに行けるようにドアの鍵は開けておく。</li> <li>衣服や上履きの左右など、違いが分かるように見せる。</li> <li>声の大きさや、保育者の立ち位置などに配慮する。</li> <li>ままごと、ブロック、パズルなどでそれぞれじっくりと遊べるように準備や配置をする。コーナーで遊びを分ける。</li> <li>保育者がオ二になり、簡単なルールを知らせる。</li> <li>プールや水遊び用のタライ、玩具を準備する。</li> <li>凶鑑や虫かごを準備しておく。</li> <li>全体を把握できるように保育者の立ち位置を確保する。</li> <li>簡単な言葉や思いの伝え方を具体的に伝える。</li> <li>衣服の汚れを気にすることなく遊べるよう、準備しておく。</li> <li>制作での使用物品を人数分準備しておく。</li> <li>CDやラジカセ、ピアノを準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鼻水が出ている際には、鼻を拭いたり自分で拭こうとする姿には認める声掛けをしていく。</li> <li>トイレでの危険がないよう見守ったり安心してトイレに行けるよう声掛けをする。</li> <li>気付きに共感したり、直そうとする姿を認めていく。</li> <li>話を聞こうとする姿を認めたり、子どもに分かりやすい言葉や表現で伝える。</li> <li>保育者が間に入ったりしながら、友だちと一緒に遊んだり、遊びを見つける経験をしていけるようにする。</li> <li>保育者がオ二になることで、友だちと一緒に逃げたりルールを知りながら楽しめるようにしていく。</li> <li>安全に遊べるよう簡単な約束は伝えつつ、保育者も一緒に楽しんで参加していく。</li> <li>散歩や戸外遊びの中で子どもと一緒に発見を喜んだり、セミの抜け殻などを探して、発見したときの子どもの喜びや驚きに共感していく。</li> <li>自分でやろうとする気持ちを十分に受けとめながら、援助をしていく。やろうとする姿やできたことを認めていく声掛けを行う。</li> <li>言葉でのやりとりの中で、状況に応じて相手がどのように感じるかを伝えていきお互いに必要な言葉を知らせていく。</li> <li>子どもの驚きや発見と一緒に喜び、言葉にしたり体験を大事にしていく。</li> <li>七夕の由来を簡単な言葉で伝えていく。制作の際には、子どもの工夫に気付いたり、聞いたりして完成を喜ぶ。</li> <li>子どもが好きな歌や踊りを見つけたら、保育者が見本となる場合には、大きく体を動かして、一緒に楽しむようにする。</li> </ul>		
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培した野菜の生長を喜び、喜んで食べてみようとする。</li> <li>苦手なものも自分なりに食べてみようとする。</li> <li>食具の使い方や食事の姿勢を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水やり用のジョウロを準備する。</li> <li>苦手なものなど量を調整していく。</li> <li>食具の使い方や姿勢は保育者が見せていくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫した野菜は安全に味わえるように計画する。</li> <li>苦手なものを食べてみようとする姿勢を認めたり、量を減らした際にはどう伝えればいいのかを知らせていく。</li> </ul>		
家庭・地域との連携		保 健 ・ 安 全		月の反省と自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの様子を伝えあい（連絡帳・貼り出し日誌・送迎時の対応）家庭と連携を取る。</li> <li>水遊びやシャワーの記入もれがないよう、また準備について知らせていく。</li> <li>個々に洋服など補充が必要な場合には声を掛ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の換気や、衣服の調節、水分補給を十分に行っていく。</li> <li>体調を崩しているときや疲れがたまっている様子があれば、ゆったりと過ごせるように配慮していく。</li> </ul>			